

平成30年度 学校自己評価システムシート (県立日高高等学校)

目指す学校像	「地域に愛され、期待に応える学校」 良好な人間関係に基づき、知力・体力の向上に努め、心豊かで元気な生徒を育成する学校。 さらに、教育活動の成果を礎に進路希望が実現できる学校。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 知力・体力の向上を目指す主体的学習態度の育成 2 豊かな心を育む基本的な生活習慣の確立 3 進路実現を図る支援の充実 4 地域・保護者との連携を深めた開かれた学校づくりの推進
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	7名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (1 月 3 1 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】アクティブラーニングを取り入れた授業改善が進みつつあり、授業に満足している生徒の割合は、向上しつつある。資格取得に向けた補習体制が整い、生徒は各種検定合格に向けて努力している。</p> <p>【課題】基礎力診断テストを活用し、学習到達度を的確に把握し、個に応じた指導をさらに進め、生徒の実態に即した授業展開をより一層推進する。部活動については、部員が定着するように部活動活性化への方策を検討する。</p>	<p>学習意欲を高め、基礎学力を向上させる。</p> <p>生徒に積極的な学校生活を送らせ、高校生活の満足度を85%以上にする。</p>	<p>①教員相互の授業観察や研修会を通じて教員の授業力を向上させ、「わかる授業」、「もっと進みたくなる授業」を推進し、学力の定着・向上を目指す。</p> <p>②朝学習、タブレット、学習サポーター(数・英・体)、全クラス配付の新聞4紙を活用して、学ぶ意欲を育成する。</p> <p>③年2回の学校評価アンケート(6月、12月)を実施し、経年変化を調査する。</p> <p>④基礎学力の定着については、平成30年度入学生から基礎力診断テストを導入し、学習到達度を測る。</p>	<p>①授業公開や研修会を実施できたか。授業満足度80%以上を達成できたか。</p> <p>②朝学習の実施状況。タブレット・学習サポーター・新聞を活用できたか。</p> <p>③「授業がわかる」、「授業に満足」の回答80%以上。</p> <p>④基礎学力がどれくらい伸びたか。</p>	<p>①10月の5年次研修の会場校研修、11月の未来学び研究授業等を通して、授業力向上に取り組んだ。職員研修会は2回実施。</p> <p>②朝学習、学習サポーターを効果的に活用できた。タブレットも一部の授業で活用。新聞やタブレットの活用が今後の課題である。</p> <p>③「授業が分かる」「授業に満足」と回答した生徒はそれぞれ78%、75%であった。</p> <p>④基礎学力の伸長度は、基礎力診断テストを継続して測定していきたい。</p>	A	<p>【課題】次期学習指導要領を踏まえた学力向上の取組は、浸透し始めた。基礎力診断テストを用いた学力伸長度の測定が課題。</p> <p>【改善策】次期学習指導要領を踏まえた新教育課程策定や、基礎力診断テストの継続活用を通して、教員間で生徒に身につけさせたい力の目線合わせを行う。</p>
2	<p>【現状】落ち着いた生活環境は整いつつある。また、多くの社会貢献活動を実施し、地域への貢献も行っている。</p> <p>【課題】遅刻が多い生徒は減少しつつあるが、さらに段階的・組織手に指導を徹底する必要がある。また、多くの社会貢献活動を実施できたが、参加する生徒が固定化する傾向にあるため、活動を広くPRし、より多くの生徒が参加するように努める。</p>	<p>基本的な生活習慣を確立させ、規律ある態度を身につけさせる。</p> <p>体験活動や社会貢献活動に積極的に参加させることにより、生徒の豊かな心を醸成する。</p>	<p>①挨拶励行・時間厳守・整理整頓の目標を教室に掲示し、規律ある生活態度を育成する。</p> <p>②朝の挨拶運動を継続し、あらゆる場面で挨拶ができる生徒を増やす。</p> <p>③TPOに応じた服装指導等を学校全体で行う。</p>	<p>①「ルールを守らせる指導」、「整理整頓」の回答90%以上。</p> <p>②教員は毎日、生徒会は週2回の挨拶運動ができたか。「挨拶をする」の回答90%以上。</p> <p>③登校時、全校集会時に実施できたか。</p>	<p>①「ルールを守っている」「整理整頓できていく」の回答はそれぞれ85%、83%。</p> <p>②朝の挨拶運動は毎日実施できた。「挨拶をする」の回答は76%であった。</p> <p>③生徒指導部を中心に各学年団と連携し、計画的・組織的に指導することができた。</p>	B	<p>【課題】落ち着いた生活環境は整いつつある。遅刻、欠席が多い生徒への指導が課題。</p> <p>【改善策】計画的、段階的に指導を継続する。講演会等を通じ、時間厳守、挨拶励行を考えさせる。</p>
3	<p>【現状】各学年とも計画的かつ組織的に指導し、進学準備、自己開拓による求職者を除き全員の進路を確定できた。</p> <p>【課題】進路に対する意識が希薄な生徒がいる。教員が多くの情報を収集し、個に応じた進路指導を徹底する。</p>	<p>計画的・組織的な進路指導により、生徒全員の進路実現を目指す。</p>	<p>①「自分発見 高校生感動体験プログラム事業」を活用した社会貢献活動により、社会との関わりを多く体験させる。</p> <p>②市や市商工会からのボランティア要請に12回以上応える。</p> <p>③東北復興ボランティアを2泊3日で実施する。</p> <p>④地元小学校との交流や見回り活動を年3回実施する。</p>	<p>①生徒全員が何らかの社会貢献活動に参加できたか。</p> <p>②12回以上協力できたか。</p> <p>③30名程度参加で実施できたか。</p> <p>④小学校との連携回数とその内容。</p>	<p>①地域清掃活動に、全校生徒で取り組むことができた(各学年、学期ごとに実施)。</p> <p>②14回実施し、のべ140名の生徒が参加した。昨年度より回数・人数とも上回った。</p> <p>③20名の生徒が参加した。今年初めて、志津川高校と交流を図り、多くの学びを得た。</p> <p>④近隣小学校の下校見守り活動を3回実施。</p>	A	<p>【課題】多くのボランティア活動を実施できたが、参加する生徒が固定化する傾向がある。</p> <p>【改善策】ボランティア活動を広くPRし、誰でも参加できるよう工夫する。また、参加した生徒の声を次の活動のPRに活かす。</p>
4	<p>【現状】各学年とも計画的かつ組織的に指導してきたか。進路未定者がゼロに近づいたか。</p> <p>①進学準備、自己開拓の生徒を除き、ほぼ全員の進路を確定できた。</p> <p>②各回ともそれぞれのテーマに基づき、適切な内容の講演会を実施できた。</p> <p>③文書発行や一斉メールを活用し、保護者対象行事案内を適切に行うことができた</p> <p>④合同企業説明会、オープンキャンパスに参加させることができた。</p>	<p>①3年間を見通した進路計画を策定し指導をしているが、さらに見直しを図りながら生徒に適した進路指導を実施する。</p> <p>②キャリア教育講演会を年3回実施し、生徒の進路意識を向上させる。</p> <p>③保護者対象の進路行事や情報発信を工夫することで、家庭の理解や協力をさらに強固にする。</p> <p>④生徒をオープンキャンパスや合同企業説明会に積極的に参加させる。</p>	<p>①PTA だよりを年3回発行し、保護者への広報に努めるとともにホームページにも掲載する。</p> <p>②一斉配信メール登録者70%以上。配信回数年間50回以上。</p> <p>③昨年度と比べて参加者が増加したか。</p>	<p>①PTA だよりの発行状況。ホームページへの掲載状況。</p> <p>②一斉配信メール登録者70%以上。配信回数年間50回以上。</p> <p>③昨年度と比べて参加者が増加したか。</p>	<p>各学年とも計画的かつ組織的に指導できた。</p> <p>①進学準備、自己開拓の生徒を除き、ほぼ全員の進路を確定できた。</p> <p>②各回ともそれぞれのテーマに基づき、適切な内容の講演会を実施できた。</p> <p>③文書発行や一斉メールを活用し、保護者対象行事案内を適切に行うことができた</p> <p>④合同企業説明会、オープンキャンパスに参加させることができた。</p>	A	<p>【課題】進路意識が希薄な生徒が、3年生になっても若干存在する。個に応じた指導で意欲を高めることが課題。</p> <p>【改善策】1年生のうちから計画的に進路指導を行い、生徒自身に進路を考えさせる契機をつくる。キャリア教育講演会を継続し、将来の生き方について考えさせる。</p>
	<p>【現状】文化祭や体育祭等の学校行事に参加する保護者が増加しつつある。ホームページの年間更新回数が280回を超え、1日平均約900件のアクセスがあった。</p> <p>【課題】学年別懇談会、PTA 総会等の行事を、安心メールや通知により周知し、参加者を増やす。出前授業や公開講座を積極的に実施したり、学習塾への訪問を継続したりして、志願者確保に向けた取組を行う。</p>	<p>保護者の本校への理解度を向上させ、PTA活動をより充実させる。</p> <p>積極的な情報発信により、本校の今を正しく伝え、本校理解度を高め、志願者数を増やす。3年連続入試倍率1倍超を実現させる。</p>	<p>①PTA だよりを年3回発行し、保護者への広報に努めるとともにホームページにも掲載する。</p> <p>②保護者会等あらゆる機会を通じて、一斉配信メールへの登録を呼びかける。</p> <p>③PTA 理事会を通じて保護者同士のネットワークを構築し、保護者の学校行事への支援と参加を呼びかける。</p>	<p>①PTA だよりの発行状況。ホームページへの掲載状況。</p> <p>②一斉配信メール登録者70%以上。配信回数年間50回以上。</p> <p>③昨年度と比べて参加者が増加したか。</p>	<p>本校を十分にPRできたと評価している。</p> <p>①更新回数約170回、平均アクセス数約700件で目標には届かず。「日高高校だより」は年6回発行し昨年以上の中学校等に配付できた。</p> <p>②学校説明会等への参加者は、昨年度比約2割増であった。</p> <p>③授業公開2回、出前授業3回、夏季公開講座8講座を達成できた。地域や地元小中学校との連携を深めることができた。</p>	A	<p>【課題】体育祭、文化祭に参加する保護者は増加している。PTA 総会や学年別懇談会の出席者を増やすことが課題。</p> <p>【改善策】PTA 役員のネットワークはできている。さらに保護者同士のネットワークづくりを行う環境を整える。</p> <p>【課題】ホームページの更新回数を増やすことが課題。また、内容をさらに充実させ、本校をより一層PRする。また、地域社会とのより良い連携を模索することも課題である。</p> <p>【改善策】ホームページ等運営委員会を活性化させる。学校説明会等の内容をさらに充実させ、本校をPRし、志願者獲得に向けた取組を行う。</p>

学校関係者評価
実施日 平成31年2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>○先生方が元気で、良い授業を展開している。</p> <p>○アクティブラーニングに取り組む様子が見られたが、より多くの授業で実施してほしい。</p> <p>○基礎力診断テストを実施しているが、今後学びの三要素とどのように結びつくのかという視点をもって、取り組んでほしい。</p> <p>○学校に対する満足度が高いことは、大変良いことである。先生方の努力の結果が表れている。</p>
<p>○教室内が大変きれいになった。</p> <p>○生徒の写真が貼ってある教室もあり、雰囲気が良い。</p> <p>○生徒指導において、やっつけていいことと悪いことを先生方が生徒にはっきり示すことが大事である。</p>
<p>○個に応じた進路指導ができていく。</p> <p>○1年生の時から、組織的・段階的に進路指導を行っている様子が伝わってきた。</p>
<p>○学校の魅力を上手に発信できている。</p> <p>○学校が良くなると、これから日高高校への入学を希望する生徒に対して良い影響が出る。さらに、地域における評判も上がる。</p> <p>○OPTA 活動が活発に行われている。</p>

